

# パネルディスカッション： 我々が望む海洋・政策・科学・学際知で挑む2030

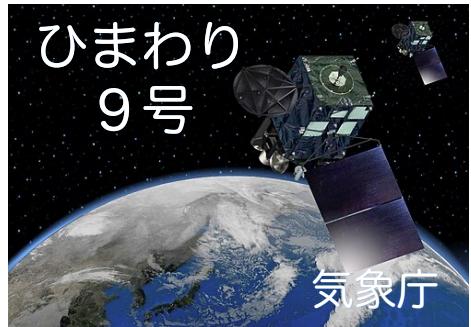
## 予測できる海とECOPの取り組み



森岡 優志  
海洋研究開発機構アプリケーションラボ

# 海を予測するには？

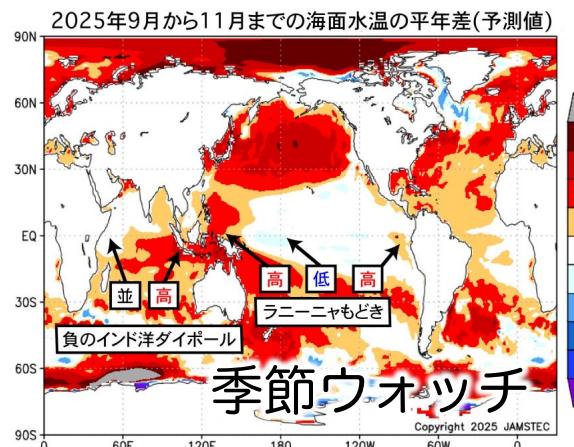
過去から今を知る



未来を予測する

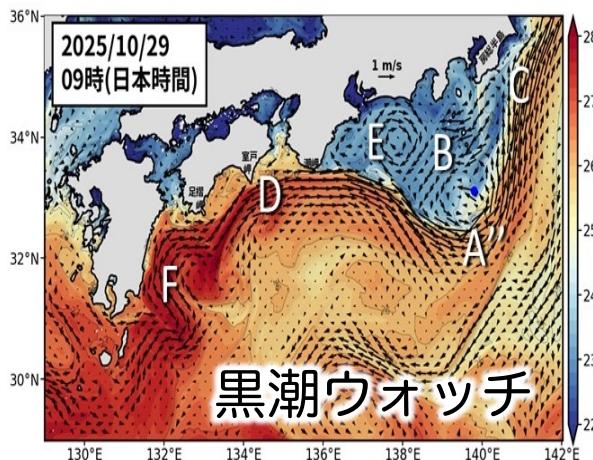


社会に発信する



数式を用いて力学予測  
AIで統計予測

アルゴフロート



観測だけではなく、スーパーコンピュータも必要

# 予測できる海の活動と課題

## プログラム



**OceanPredict**  
Advancing the science of ocean prediction

## 特徴

科学寄り

## 日本が関わるプロジェクト例



観測システムの影響評価  
(JMA)



科学とSH

日本から積極的な参加なし



科学とSH

西太平洋と南・東アジアの縁辺海  
における海洋予測 (JAMSTEC)



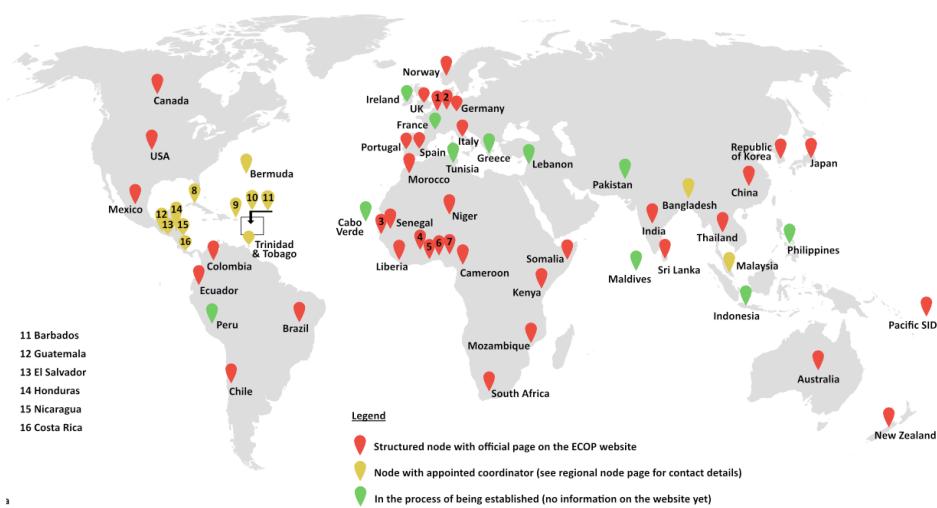
SH寄り

4次元仮想地球と海洋デジタル  
ツイン (JAMSTEC)

複数のプログラムが進行中だが、重複や空白域がある

# 海洋若手専門家(ECOP)プログラム

海洋分野での経験が10年以内の専門家



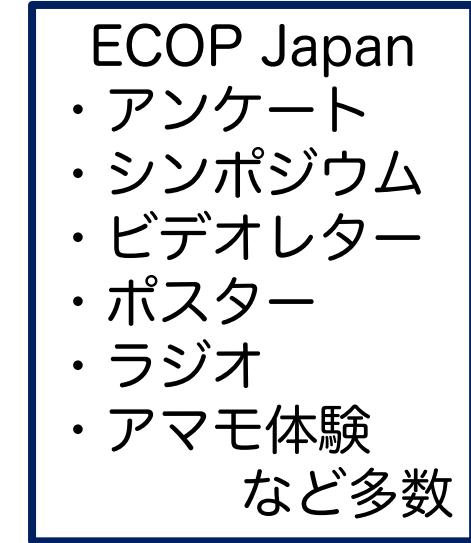
5年間で168カ国、7960名まで成長

# 海洋若手専門家(ECOP)の活動と課題

2021 持続可能な開発のための  
2030 国連海洋科学の10年  
United Nations Decade of Ocean Science  
for Sustainable Development



【申込方法】  
[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_v4wSgAaGzvHtOEKR0zA](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_v4wSgAaGzvHtOEKR0zA)  
【主催】ECOP Japan (<https://www.ecopdecade.org/japan/>)  
\*ECOP Japanは「国連海洋科学の10年」の取組みの一環として  
若手海洋専門家の交流や交流の促進を行っています  
【問合せ】ecopjapan.contact@gmail.com



地域や国で活動が増えたが、活動を支える人手と資金不足